

●正誤表

「アイスペシャル」使用説明書に下記の間違いがありました。謹んでお詫びし、訂正いたします。

●20ページの12.

誤	正
●被写体に近づいて拡大して撮るとき → テレマクロ撮影(ワーキングディスタンス:約5cm~30cm)	●被写体に近づいて拡大して撮るとき → テレマクロ撮影(ワーキングディスタンス:約15cm~30cm)

●26ページの3.の表の「×1/1.2」の「実際のワーキングディスタンス」の項目

誤	正
約29cm	約41cm

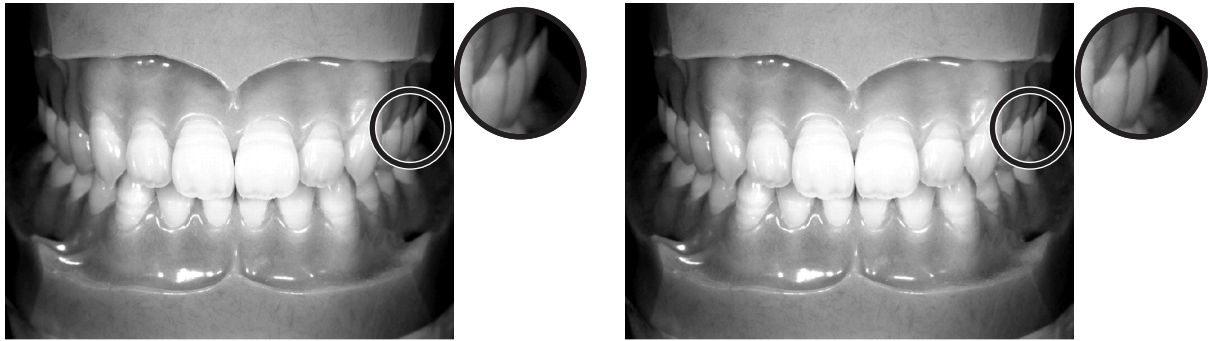
●〔ご注意〕フィルタアダプターについて

歯科撮影モードではツインフラッシュの発光部にフィルタアダプターを必ず取り付けてください。取り付けずに撮影を行うと、最適な撮影ができなくなります。

参照 → アイスペシャル説明書 P. 11

●被写界深度をさらに深くするには

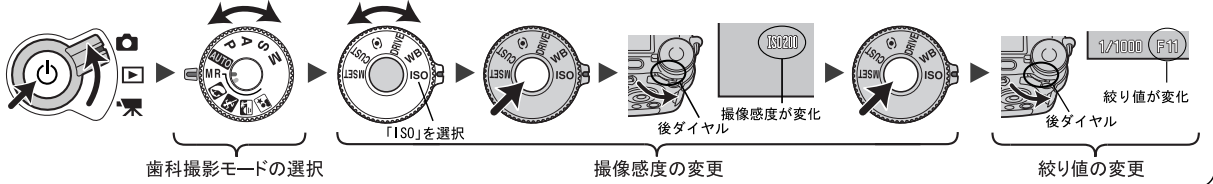
被写界深度をさらに深くしたい場合は、撮像感度:ISO 200、絞り値:F11に変更して撮影してください。



撮像感度:ISO 100、絞り値:F8.0

撮像感度:ISO 200、絞り値:F11

〔変更方法〕 参照 → カメラ説明書 P. 82

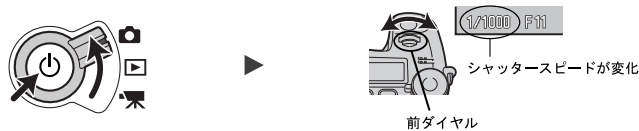


- ・上記の設定に変更することで、初期設定値の場合とほぼ同じ露出で撮影することができます。
- ・被写界深度は深くなりますが、本機のレンズの性能上、画質は若干劣化します。
- ・撮影モードダイヤルを別の位置へ回すと、上記の設定変更はリセットされます。設定を上書き登録すると(参照 → アイスペシャル説明書 P. 33)、撮影モードダイヤルを回しても変更された設定はリセットされません。
- ・上記の変更は、最適な画像が得られることを保証するものではありません。

●外光の影響をさらに少なくするには(低反射モードのみ)

外光の影響をさらに少なくするには、シャッタースピードを1/5000に変更してください。ただし、低反射モードのテレマクロ撮影領域(ワーキングディスタンス:約15cm~30cm)でのみ有効です。

〔変更方法〕

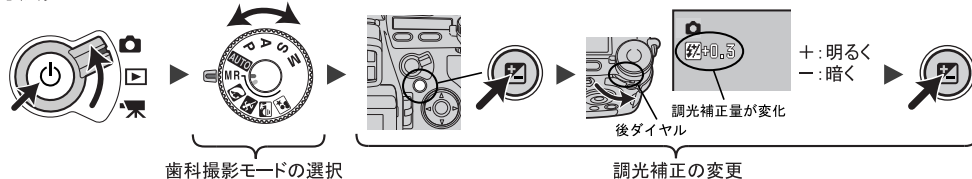


- ・撮影モードダイヤルを別の位置へ回すと、上記の設定変更はリセットされます。設定を上書き登録すると(参照 → アイスペシャル説明書 P. 33)、撮影モードダイヤルを回してもリセットされません。
- ・上記の変更は、最適な画像が得られることを保証するものではありません。

● 画像の明るさを微調整するには

ミラーでのフラッシュ光の減衰により、ミラー撮影の場合には画像が若干暗くなることがあります。以下の手順で調光補正を行うと画像の明るさを微調整することができます。

[変更方法] 参照 → カメラ説明書 P. 54



- 参考**
- ミラーの反射率や、カメラ本体とミラーとの位置関係により明るさは変化しますので、ご使用条件に合わせて補正量を決定してください。
 - 撮影モードダイヤルを別の位置へ回すと、上記の設定変更はリセットされます。設定を上書き登録すると(参照 → アイスベシヤル説明書 P. 33)、撮影モードダイヤルを回しても変更された設定はリセットされません。
 - 上記の変更は、最適な画像が得られることを保証するものではありません。

● AFを使用した簡易定倍率撮影について

以下の手順を行うことで、定倍率撮影時にオートフォーカスを使ったピント合わせが可能になります。

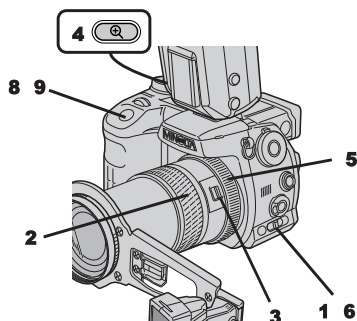
【お願い】 簡易定倍率撮影を行う前に必ずセットアップモードメニューの「フルタイムAF」を「なし」に変更してください。

[変更方法] 参照 → カメラ説明書 P. 192



参考 この変更は、ご購入後に一度だけ行なってください。ただし、「設定値リセット」(参照 → アイスベシヤル説明書 P. 33)を行うと、上記の変更もリセットされますので、もう一度変更してください。

【撮影手順】

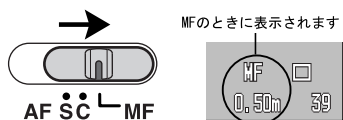


【倍率表】

倍率	設定				実際のワーキング ディスタンス
	マクロレバー	デジタルズーム	画面の距離表示	ディスタンス	
×1.5	MACRO	ON	0.28m	約14cm	
×1.0	MACRO	ON	0.56m	約30cm	
×1/1.5	MACRO	OFF	0.34m	約18cm	
×1/2	MACRO	OFF	0.56m	約30cm	
×1/2.5	—	OFF	0.9m	約43cm	
×1/3	—	OFF	1.4m	約55cm	

※低反射モードでは、×1.5～×1/2まで撮影可能です。
※上記以外の倍率は、アイスベシヤルの使用説明書をご覧ください。

1. フォーカスモードレバーを「MF」に合わせます



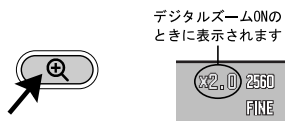
2. ズームリングをテレ側へいっぱい回します



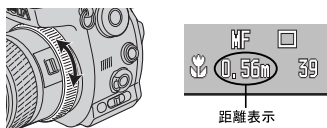
3. 倍率表を参照して、撮りたい倍率に合わせてマクロレバーを操作します



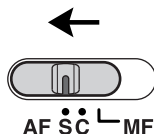
4. 倍率表を参照して、撮りたい倍率に合わせて拡大ボタンを操作します



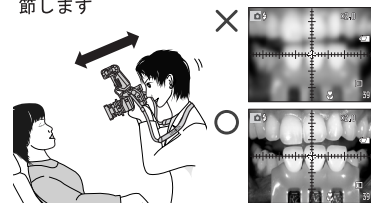
5. 倍率表を参照して、撮りたい倍率に合わせてフォーカスリングを回して、画面右下の距離表示を調節します



6. フォーカスモードレバーを「AF-S」に合わせます



7. カメラを前後させてピントが合うように調節します



注記 この時点では、まだシャッターボタンに触れないでください。

8. 画面でおおよそのピントが合ったらシャッターボタンを半押ししてオートフォーカスを使ってピントを合わせます

注記 おおよそのピントが合っていない状態でシャッターボタンを半押しすると倍率が大きくなりますので、1～6.の手順をやり直してください。

9. シャッターボタンを押し込んで撮影します

参考 続けて同じ倍率で撮影する場合は、7～9.の繰り返しで撮影することができます。ただし、次第に倍率のずれが大きくなる場合がありますので、数回に一度は1～6.の手順をやり直してください。